



一ぴきのカエルの産む卵の数は、どれくらいなの

ウシガエルは1万～2万个産む

春先の川や池で、たくさんのカエルの卵を見かけたり、卵からかえったオタマジャクシが、うじゃうじゃ水の中でひしめいているのを目にしますね。でも、おとなのカエルまで育つものは、ほんのわずかです。

一ぴきのカエルが産む卵の数がいちばん多いのは、ウシガエル（食用ガエルともよぶ）で、1万～2万个といわれています。大きなかたまりで、水面に平たくういた卵です。

次に多いのは、春先よく目にする、長い長いひものような卵のかたまりを産むヒキガエルで、卵の数は2000～8000個です。次は、2～4月ごろ、まだ寒い時期に田んぼや、浅い川底に卵を産むヤマアカガエルの、500～3000個でしょう。

卵の数が、1000個ぐらいのカエルが多い

5～6月ごろ、水底に20センチメートルぐらいの丸いかたまりのようにしずんでいるトノサマガエルの卵の数は、800～2000個、水草に小さな卵のかたまりに分けて、いくつもくっつけて産むツチガエルは、800～1400個、やはり水草に小分けして、産みつけるアマガエルの卵の数は、500～1000個というようなくあいです。

卵の数が少ないほうでは、山のわき水の近くで産卵するタゴガエルの卵の数は、60～100個ぐらいです。でも、卵の大きさは、日本にいるカエルの中ではいちばんで、3.5ミリメートルぐらいあります。ヒキガエルの卵は、2ミリメートルぐらいですから、かなり大きいといえます。卵の大きさが3ミリメートルもある、モリアオガエルの卵の数も、およそ500個と少ないほうです。（監修・今泉 忠明）

